

第2回 EV 関連技術情報発信セミナー

「CASE 到来を見据えたビジネス戦略と技術動向」

このたび、岡山県及び（公財）岡山県産業振興財団では、県内自動車関連企業等が今後のEVの普及に伴い新たに必要になる技術や部品製造に対応できるよう、各分野の最新情報を得ることを目的に下記のとおりセミナーを開催いたしますので、ぜひご参加ください。

記

- 1 開催日 令和2年2月5日（水） 13：30～16：45
- 2 場 所 岡山ロイヤルホテル 光楽の間 （岡山市北区絵図町2-4）
- 3 内 容

時 間	プログラム
13：30～15：00	【講演1】 『「CASE」がもたらすモビリティビジネスの変化』 アクセンチュア㈱ 戦略コンサルティング本部 マネジング・ディレクター かわはら えいじ 川原 英司 氏(*1) 自動車業界の大変化「CASE」の進展により、自動車産業やモビリティのパラダイムシフトが起ころうとしている。こうした業界変革期の生き残り戦略・成長戦略の方向性についてグーグル、ソフトバンク等のIT業界や通信、ハイテク、金融、エネルギー等様々な関連業界の視点で解説する。 
15：00～15：15	休 憩
15：15～16：45	【講演2】 『テスラ・モデル3分解から読み解く次世代自動車に求められるパワーデバイス応用技術最前線』 名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム応用部 教授 やまもと まさよし 山本 真義 氏(*2) 大きな市場を持つことが確実である次世代自動車応用分野において、今後益々要求が高まるパワーエレクトロニクス技術にどのような性能が求められるのかを、自動車・Tier1メーカーからの応用側の要求を掲示する。さらに、48V車、HEV、EV等それぞれのパワーデバイスへの期待に対して、低コスト化、小型軽量化、高効率化をどのように解決していくかについて具体的な手法を解説する。 

- 4 対 象 者 県内自動車関連企業またはEVシフトに伴う最新情報に関心のある事業者等
- 5 定 員 100名程度
- 6 参加費用 無料
- 7 申込方法 下記申込書に必要事項をご記入の上、連絡窓口宛て FAX またはメール。
- 8 申込締切 令和2年1月31日（金）17：00 必着
- 9 申 込 先 （公財）岡山県産業振興財団 研究開発支援課 勝野、柘野
(TEL) 086-286-9651 (FAX) 086-286-9676 (E-mail) jidousya@optic.or.jp

(*1) アクセンチュア(株) 戦略コンサルティング本部 マネジング・ディレクター ^{かわはら えいじ} 川原 英司 氏

東京大学卒業後、日産自動車、三菱総合研究所、A.T. カーニーを経て、アクセンチュア参画。自動車関連を中心に経営コンサルティングを数多く手掛ける。経済産業省、国土交通省、NEDOなどで各種委員を歴任。主な著書に「Mobility 3.0」(共著、東洋経済、2019年)、「自動車産業次世代を勝ち抜く経営」(日経BP、2011年)、「電気自動車が革新する企業戦略」(共著、日経BP、2009年)、「情報革命と自動車流通イノベーション」(共著、文真堂、2000年)等

(*2) 名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム応用部 教授 ^{やまもと まさよし} 山本 真義 氏

2003年山口大学理工学研究科博士取得後、サンケン電気株式会社、島根大学総合理工学部講師を経て、2011年より島根大学総合理工学部准教授着任。2017年より名古屋大学未来材料・システム研究所教授着任。パワーエレクトロニクス全般(磁気、制御、回路方式、半導体駆動)に関する研究に従事。博士(工学)。IEEE、電気学会、電子情報通信学会会員。応用は航空機電動化、自動車電動化、ワイヤレス給電の三本柱。日本の大学研究室としては珍しく、共同研究企業は40社を超え、海外の完成車メーカーとも強いコネクションを持つ。産学連携活動を強力に推進しており、企業との共同特許出願数も多数。共同研究だけでなく、各企業の戦略コンサルタントも請け負い、技術顧問としての活動も幅広い。

第2回 EV 関連技術情報発信セミナー

「CASE 到来を見据えたビジネス戦略と技術動向」参加申込書

FAX 086-286-9676 **※1月31日(金)必着**

(公財) 岡山県産業振興財団 研究開発支援課 勝野、柘野 宛て

企 業 ・ 団 体 名	
参 加 者	役職
	氏名
参 加 者	役職
	氏名
参 加 者	役職
	氏名
連 絡 先	携帯番号： ※当日連絡が可能なもの
	MA I L：
備 考 欄	

※参加申込書にご記入いただいた情報は、事業運営上必要な範囲内で、適切に使用させていただきます。